

全国オンライン弓道交流大会

運営の手引き

本競技会は、弓道競技規則、実施要項、本資料「運営の手引き」に基づき、オンライン弓道大会に対応して開催いたします。

オンライン大会担当者は、必ず本書を一読し、各事項を確認して運営を行ってください。参加者にも本書を配布するなどして、内容の周知を図ってください。

ご質問がある場合は、大会本部へご連絡ください。

本書は必要に応じて、大会当日までに加筆・修正を行う可能性があります。変更があった場合は、直ちにオンライン大会担当者へ連絡を行いますので、変更箇所の確認をお願いします。

各会場においては、「新型コロナウイルス感染防止対策弓道ガイドライン」に基づき、各地域の状況に即した対応を必ず取ってください。また、大会関係者以外の参加はさせず、無観客で実施し、インターネット上（YouTube 及び Twitter）での観戦を勧めてください。

目次

事前準備	1 ページ
当日準備	7 ページ
競技中	10 ページ
その他	17 ページ

〈事前準備〉 ※大会当日までに、必ず地連内でテストしてください。

1. 必要な情報・通信機器及び運営役員の手配を行うこと。

① 映像配信用端末（Web カメラ+PC、スマホ、タブレット）

射場全体を脇正面から撮影し、行射の様子を本部に配信します。Web カメラは、「30fps、HD720p」以上の仕様を有するものでお願いします。PCは、Zoomが使用できれば問題ありません。スマホあるいはタブレット端末を使用する場合、可能な限り、高画質のものをご用意ください（iPhone12 など）。本部からのアナウンスが確実に聞こえるようにするため、外部スピーカーの仕様を推奨します。

② 記録用端末

行射中に、Google スプレッドシート上での的中記録を入力するために用います。入力された的中記録は、本部及び参加チーム間で、リアルタイムで共有されます。インターネットに接続できる PC（Windows10 推奨）をご用意ください。**記録用端末では Zoom は使用しません。マイク・カメラは不要です。**

③ モバイル Wi-Fi あるいはスマートフォン（※弓道場に通信環境が無い場合）

会場となる弓道場に通信環境が整備されていない場合、モバイル Wi-Fi あるいはスマートフォンをテザリングしてご使用ください。

個人所有のものを使用する場合、通信量にご注意ください。Zoom を動画・音声有で使用すると、1 時間あたり 1 GB 弱使用します。会員の個人負担が生じることが無いように、ご配慮ください。

**モバイル Wi-Fi をレンタルされる場合、実行委員会において業者の指定及び斡旋等
は行いません。各地連において、会場となる地域に適したものをご手配ください。**

競技役員について

大会当日、必要な競技役員は、オンライン大会担当者、進行委員、記録委員、的前委員、審判委員（射場審判委員及び的前審判委員の 2 名）の 6 名を基準としてください。**6 名確保できない場合、今回の大会に限って、進行委員と射場審判委員、的前委員と的前審判委員を兼務させ、替弓・替弦・替矢の管理や弦切れ時の対応は、控え選手が対応するなどし、各会場の状況に応じて、柔軟なご対応をお願いします。**

オンライン大会担当者は、大会本部と連絡を取り合い、映像配信用端末の操作を行います。

進行委員は、競技が円滑に進行するように、入退場指示、競技中の弦切処理、矢返し、本部進行補助などを行います。

記録委員は、看的表示に基づき、記録用端末を用いて、Google スプレッドシート上に的中記録を入力します。

的前委員は、的前・看的に関する業務を行い、的前審判委員の判定に基づき、看的表示板に表示し（看的委員の役割も担う）、記録報告後、矢取りを行います。

審判委員は、各会場における競技結果が正しいことを確認します。地連会長の任じた競技に直接参加しない者（公認審判員資格を有している者が望ましい）が、審判委員の役割を担ってください。射場審判委員と的前審判委員を配置してください。**審判委員が1名のみの場合、的前審判委員を配置し、射場審判委員は進行委員などが兼務してください。**射場審判委員は、射場（矢道を含む）での審判を行います。安全確認および選手の行射位置、行射の有効、無効、失権および失格などを判定し、行射停止が必要であると判断した場合は、これを宣言し停止させます。また、上記が発生した場合に、オンライン大会担当者を通じて、大会本部へLINE オープンチャットで直ちに報告します。的前審判委員は、的前での審判を行います。矢の、「あたり」「はずれ」を判定します。

なお、弓具点検は、事前に各地連で弓具審判（射場審判委員あるいは的前審判委員が兼ねても良い）が実施してください。

2. 映像配信端末に Zoom をインストールしてください。

PC の場合

Zoom を初めて利用される場合は、下記 URL から「ミーティング用 Zoom クライアント」の事前ダウンロードを行い、マイク・カメラのテストをお願いいたします。

検索サイトで検索すると、偽 Zoom が見つかる場合があります。必ず、下記リンクから正規版をダウンロードしてください。既にインストールされている場合、最新版（3月13日現在バージョン 5.5.4）にアップデートされていることをご確認ください。

<https://zoom.us/download>

スマートフォン・タブレットの場合



iPhone・iPad



android

QRコードが読み取れない場合は、Apple Store または Google Play で「Zoom」を検索して、「ZOOM Cloud Meetings」というアプリをダウンロード・インストールしてください。

Zoom でのアカウント名表示は、「都道府県名」(例:東京)としてください。

3. 参加地連のオンライン大会担当者は、「全国オンライン弓道交流大会運営用 LINE オープンチャット」に参加してください。副担当として、オンライン大会担当者に加えて、もう1名ご参加ください。

※副担当は、別の LINE 担当者を設けるか、記録委員や進行委員などが参加するなど、各地連で適任と思われる方を追加してください。

※名前は、**都道府県名 1・2+(担当者名)**で参加してください。 例：東京 1（鈴木）

※下記の QR コードを読み込んで参加してください。

QRコードは関係者のみに公開しています

LINE オープンチャットでは、速報性が必要とされる情報の共有を行います。本部及び各地連のオンライン大会担当者間で、簡単な確認事項やトラブルが起きた際に即座に連絡が取れるようにするものです。例えば、Zoom の接続が途切れてしまった場合、本部及び対戦相手への連絡に用いるほか、次の立は何時から始まるといった、対面式であれば運営役員同士で会話するような内容を共有します。

オープンチャットでは、お持ちの LINE のメインアカウントとは切り離して、別のニックネームで参加できます。個人アカウントを、特定されることはありません。

大会当日までは、大会本部からの連絡の受信と、全体に共有したほうが良いと判断した質問のみの投稿としてください。参加時に、「●●県の●●です。」といった、自己紹介は不要です。大量の通知を避けるために、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

4. 大会本部で準備ができ次第、お知らせいただいた Google アカウントに、的中記録を入力する Google スプレッドシートの共有を行います。記録用端末で、Google スプレッドシートが使用できることを確認しておいてください。

5. 3月20日(土)12:00までに、予選1回目の参加選手3名を、Google スプレッドシート上に、ご入力ください。

立順	地連名	選手名	1	2	3	4	小計
1	岐阜						

こちらに選手名をご記載ください。
上から1番、2番、3番です。

※選手の変更・交代に回数等の制限はありません。補欠選手の登録を行う必要はありません。

6. 3月20日(土)13:00~17:00までの間、Zoomの部屋を開けておきます。Zoomの接続テストを希望される場合、この時間に以下のリンクから適宜ご接続ください。地連別に時間の指定は行いません。なお、同時刻に多数の地連による接続があった場合、ブレイクアウトルームを用いて順次対応する場合があります。この場合、先に接続頂いた地連の対応を行っている間、お待ちいただく場合があります。

【事前テスト用】全国オンライン弓道交流大会

Zoom URLは関係者のみに公開しています

7. 3月20日(土)17時までに、選手名入りの立順表を、メールにて宛先を地連とし、CCにGoogle アカウント Gmail、BCCにオンライン大会担当者個人アドレスとしてお送りします。同時に、大会用の特設 Twitter(表1参照)、LINE オープンチャットで公開します。

その他注意事項

- 情報・通信機器が、使用中にバッテリー切れとならないように、完全充電するなどしてご準備ください。
- 不具合が生じた場合に備えて、予備の情報・通信機器を用意することを推奨します。
- 本部から選手に対する合図を、映像配信用端末のスピーカーを通じて行います。会場によっては、映像配信用端末のスピーカーを最大音量にしても、選手が聞き取りにくい場合があります。その場合は、外付けスピーカーを接続するなどしてご対応ください。スピーカーは、本部からの合図が射場内で聞こえるように、音量を調整してください。
- (3月19日加筆) 映像配信用端末のマイクは、端末に内蔵しているもので構いません。よりクリアな射場内の音声(弦音など)を集音するために、新たに外付けマイク等を購入する必要はありません。
- 大会当日3月21日(日)11:00に始まる接続テストまでに、各地連内で必要に応じて

Gmail、Zoom、Line のアカウント及び操作確認を行っておいてください。

- 選手・役員を含めた参加者名簿を作成し、住所・連絡先、当日体温測定をしたうえで保管すること

表 1. 各サービスの名称と役割、操作者・対象者、リンク・アカウント情報

名称	役割、操作者・対象者、リンク・アカウント情報
Google アカウント	<ul style="list-style-type: none"> ● Gmail による連絡、Google スプレッドシート上で選手名の登録及び的中記録の入力に使用する。 ● オンライン大会担当者及び記録委員が使用 ● 各地連のオンライン大会担当者に Google アカウントを作成いただき、大会本部から指定のアカウントに対して連絡・共有を行う。
LINE	<ul style="list-style-type: none"> ● 本部及び各会場のオンライン大会担当間で、速報性が必要とされる情報の共有を行う。 ● オンライン大会担当者及び各地連追加で 1 名（計 2 名）が使用 ● QR コードを通じて参加すること。 <p style="text-align: center;">QRコードは関係者のみに公開しています</p> <p style="text-align: center;">(P.3 に表示されているものと同じものです)</p>
Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ● 射場の映像配信、本部からのアナウンスの受信・掲示の表示に用いる。 ● オンライン大会担当者が主に操作する。 <p style="text-align: center;">【事前テスト用 URL】 3 月 20 日(土)13 時～17 時</p> <p style="text-align: center;">Zoom URLは関係者のみに公開しています</p> <p style="text-align: center;">【本番 URL】3 月 21 日(日)11 時～</p> <p style="text-align: center;">Zoom URLは関係者のみに公開しています</p>
YouTube	<ul style="list-style-type: none"> ● 競技のライブ配信を行う。 ● 大会本部が配信を行い、誰でも自由に閲覧できる。 ● YouTube チャンネル (3 月 19 日加筆) https://www.youtube.com/channel/UCG8qJXuW3uWngumU8lyeb2g
Twitter	<ul style="list-style-type: none"> ● 競技結果の速報を行う。 ● 大会本部が配信を行い、誰でも自由に閲覧できる。 ● Twitter URL (3 月 19 日加筆) https://twitter.com/KyudoOnline

〈当日準備〉

1. 図1を参考に、射場内に必要機器及び運営役員を配置してください。各機器が正常に作動し、インターネットに接続できることを確認してください。

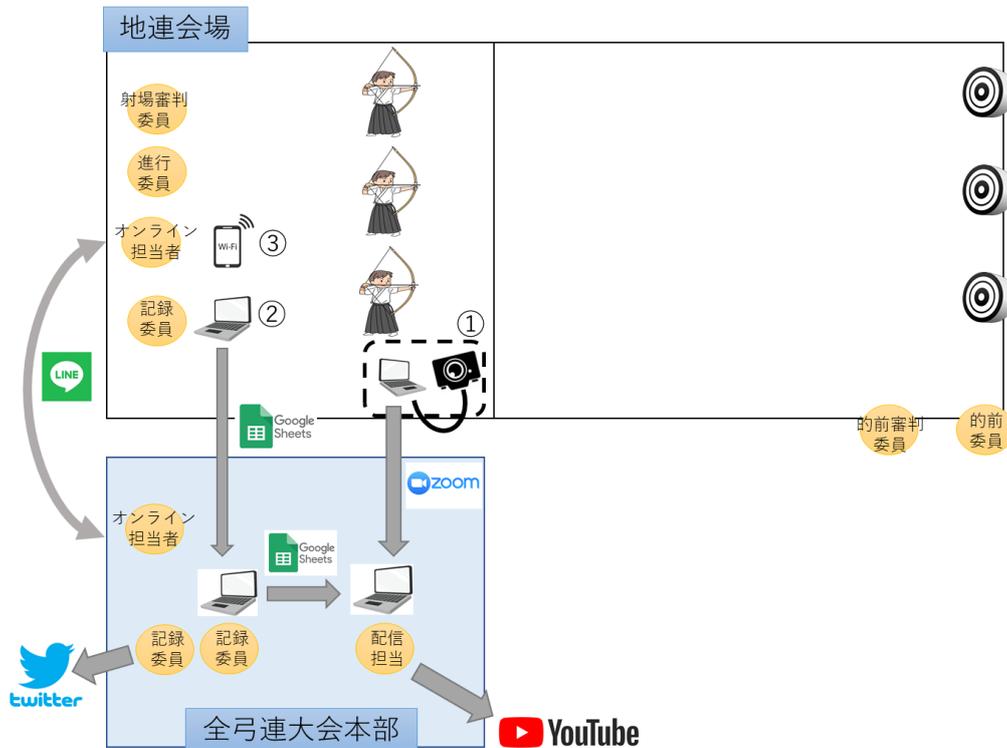


図1. 地連会場における機器・運営委員配置例と大会本部との情報共有方法

映像配信用カメラの設置位置について

選手を含め、本座一步前までの全体を常時撮影できる位置に設置してください。行射ごとに、カメラを移動させる必要はありません。図2左の映像が撮影できる位置（脇正面的側）からの撮影を行ってください。図2左の映像が撮影できる位置にカメラを設置することが難しい場合は、図2右の映像が撮影できる位置（脇正面本座側）から撮影を行ってください。



図2. 映像配信用カメラの撮影映像例

※背後に、競技に参加しない選手や競技に関係しない者が写り込まないように配慮してください。

※逆光で見えない場合は、映像を補正するなどして調整してください。Zoom を起動し、画面左下の「ビデオ」の右側の「^」をクリック→「ビデオ設定」をクリック→「低照度に対して調整」を「手動」に設定し、横のバーで調整 or 「外見を補正する」にチェックを入れる（Mac の場合は「ビデオフィルターを適用する」）。会場によっては、午前と午後で移り方が変わる場合がありますのでご注意ください。

2. 審判委員は、公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」、「運営の手引き」ならびに「大会要項」に定められた会場が用意されていることを確認してください。

※同中競射の際に、選手が待機できるように、本座前に椅子を用意することを推奨します。椅子を用意できない場合、選手は立った状態でお待ちいただいで結構です。

3. 表 1 の順番で、順次 Zoom の接続テストを行っていきます。

(3月19日加筆) Zoom 接続先 URL

Zoom URLは関係者のみに公開しています

- 8 地連ごとに行います。
- 事前に入室して待機していただいで構いませんが、順番が来るまではビデオ・マイクはオフにしてお待ちください。
- 時間となりましたら、本部から地連名を読み上げます。映像配信用端末のビデオ・マイクをオンにしてください。
- 本部及び同時刻に接続テストを行っている 8 地連間で、映像・音声に問題ないかを確認します。スピーカーは、本部からの合図か射場内で聞こえるように、音量を調整してください。
- 接続テストに問題が生じた場合、それ以降の接続時間が遅れる場合があります。また、指定された時刻に接続できなかった場合、全ての接続テストが終了したのちに、個別に接続テストを行います。

表 1. 接続テスト時間

接続時間目安	地連名			
11:00～ A グループ	岐阜	石川	山形	愛媛
	宮城	徳島	岡山	青森
11:10～ B グループ	三重	富山	愛知	香川
	千葉	高知	山梨	島根
11:20～ C グループ	東京	茨城	山口	鳥取
	栃木	福井	福岡	福島
11:30～ D グループ	長野	長崎	岩手	静岡
	滋賀	大阪	和歌山	

4. 予選 1 回目の選手変更・交代がある場合は、11:30 までに Google スプレッドシート上の選手変更・交代の欄に、以下のように記載してください。

選手変更・交代
1 回目：弓道花子→弓道太郎

〈競技中〉

自チームが行射している時以外は、Zoom のマイク・ビデオはオフにしてください。

映像配信用端末のスピーカーは、常時間こえる状態にしておいてください。

予選

- 事前の抽選によって決めた立ち順で、8 チームずつ行射する。
- 坐射で1 団体 12 射（各自 4 射） 2 回、計 24 射にて的中数の上位 8 チームを決勝トーナメント進出とする。
- 制限時間は1 立7 分3 0 秒
自団体内に起因する事故（弦切れ処理など）の場合は、制限時間内で行う。
- 決勝トーナメント進出の為の同中競射は、1 団体 3 射（各自 1 射）にて、総的中数の多いチームを上位とする。なお、同中の場合は、順位が決定するまで繰り返す。4 矢を用意し、選手は退場せず、1 射終わるごとに本座の一步手前（椅子がある場合は座っても良い）で待機し、進行委員（または監督や控え選手など）が持参する。

予選立順番号

予選 1 回目	12 : 00		予選 1 回目	12 : 10		予選 1 回目	12 : 20		予選 1 回目	12 : 30	
予選 2 回目	12 : 40		予選 2 回目	12 : 50		予選 2 回目	13 : 00		予選 2 回目	13 : 10	
A グ ル ー プ	立順	地連名	B グ ル ー プ	立順	地連名	C グ ル ー プ	立順	地連名	D グ ル ー プ	立順	地連名
	1	岐阜		9	三重		17	東京		25	長野
	2	石川		10	富山		18	茨城		26	長崎
	3	山形		11	愛知		19	山口		27	岩手
	4	愛媛		12	香川		20	鳥取		28	静岡
	5	宮城		13	千葉		21	栃木		29	滋賀
	6	徳島		14	高知		22	福井		30	大阪
	7	岡山		15	山梨		23	福岡		31	和歌山
	8	青森		16	島根		24	福島			

※全国オンライン弓道交流大会実行委員会において抽選を行い、立順（行射グループ）を決定させていただきました。

(3月19日加筆・修正)

※予選の開始時刻は目安です。進行の状況により、多少前後する可能性があります。

※予選の開始時刻は早めることはありません。前立が早く終了しても、次立は予定通りの時間で行います。開始時刻が遅れる場合のみ、新たな開始時刻を LINE オープンチャット上でご連絡します。

1. 11:50 になりましたら、映像配信用端末のスピーカーをオンにしてください。スピーカーは、本部からの合図が射場内で聞こえるように、音量を調整してください。なお、スピーカーについては、大会終了までオフにしないでください。
2. 8チームずつ行射します。11:57 になりましたら、本部より「1 立目のチームは入場してください」とアナウンスします。1 立目に行射する立順番号 1~8 のチームの選手は、射場内に入場し、本座の 1 歩手前で立ってお待ちください。同時に映像配信用端末のマイク・ビデオをオンにしてください。

※入場口から本座の一步手前までの動作を省略し、本座の 1 歩手前から開始していただいても構いません。各地連の対応にお任せします。11:57~12:00 までの間に、本座の 1 歩手前で選手が立った状態で、映像配信用端末のマイク・ビデオをオンにできることを最優先事項としてください。

3. 全ての会場が揃ったら、大会本部から、「ただいまより、予選 1 回目 1 立目を開始します。本座にお進みください。」と、Zoom を通してアナウンスします。選手は、1 歩進んで、本座に跪座してお待ちください。
4. 大会本部から、Zoom を通して 12:00 に「始め」の合図で、選手は揃って揖を行い、射位に進み、行射を開始してください。（進行委員は競技開始を補助してください。制限時間の計測は、実際に開始した時刻から行います。）
5. 行射中に、記録委員は随時 Google スプレッドシート上の的中を入力してください。

（3月19日加筆・修正）

Google スプレッドシート上の的中入力方法について

中り：「1」をご入力ください。自動的に、「○」と表示されます。

外れ：「0」をご入力ください。自動的に、「×」と表示されます。

必ず、「1」か「0」をご入力ください。それ以外の数字は入力しないようにお願いします。

※的中したかどうか確認が必要な場合は、入力せずに空欄としておいてください。

6. （3月19日加筆・修正）行射終了後、選手は射場から順次ご退場ください。その後、同立の全てのチームの行射が終了するまで、的中確認や矢取は行わず、**本部から合図があるまで、お静かにお待ちください。**
7. 本部から、「的中の確認をお願いします」と合図します。本部の Zoom 画面上にも、同様の掲示を行います。行射したチームの会場は、一斉に的中の確認を行い、確認後矢取を行ってください。
8. 的中を確認した結果、記録に変更がある場合、Google スプレッドシート上の記録を修正してください。
9. 的中の確認が終わりましたら、**映像配信用端末のマイク・ビデオをオフ**にしてください。マイク・ビデオがオフになったことを以て、本部はその会場の的中の確認が終了したことを確認します。

10. 全ての会場のマイク・ビデオがオフになりましたら、本部から「ただいまの競技の結果、東京●中、千葉●中・・・」という形でアナウンスします。同時に、LINE オープンチャット上にも、本部から 8 チーム（グループごと）の的中を投稿します。
 ※もし、記録が異なる場合は、LINE オープンチャットでご連絡ください。

1 立目が終了次第、2 立目以降を上記の手順を繰り返して行います。

(3月19日加筆・修正) 次の立で行射を行う選手は、前立の的中の確認を行っている間に、本座の1歩手前に進み、立ってお待ちください。

次の立は、開始時刻の3分前となりましたら、射場内に入場し、本座の1歩手前で立ってお待ちください。本部から、「入場してください」のアナウンスは行いません。

※入場口から本座の1歩手前までの動作を省略し、本座の1歩手前から開始していただいても構いません。各地連の対応にお任せします。予選開始時刻までに、本座の1歩手前で選手が立った状態で、映像配信用端末のマイク・ビデオをオンにできることを最優先事項としてください。

前立の競技結果をアナウンス（上記10）した後に、本部から「続けて、予選1回目2立目を行います。該当する会場は、ビデオとマイクをオンにしてください。」とアナウンスしますので、映像配信用端末のマイク・ビデオをオンにしてください。その後、上記3からの手順を繰り返します。

予選2回目で選手変更・交代を行う場合

自チームの予選2回目開始までに、記録用紙の選手変更・交代の欄に、以下のように記載してください。

選手変更・交代	1回目及び2回目に変更・交代がある場合
1回目：弓道太郎→弓道次郎、2回目：弓道次郎→弓道三郎	
2回目：弓道四郎→弓道五郎	2回目に変更・交代がある場合

※選手の変更・交代に回数等の制限はありません。1回目で変更・交代した選手が、2回目で再出場することは可能です。

予選終了後、同中競射が生じた場合

予選終了後、直ちに本部において各チームの的中数を集計し、決勝トーナメントに進出する8チームを発表します。決勝トーナメント進出の同中競射が生じた場合、13:30（予定）から行います。Zoom 及び LINE オープンチャット上で、直ちに開始時刻と共に該当するチームを連絡します。該当するチームは、同中競射を行うための4矢を準備し、13:28（予定）に、本座の1歩手前で待機してください。（入場口から始める場合は、間に合

うように、13：28 以前にご入場ください。本座の一步手前から開始していただいても結構です) 準備ができ次第、ビデオとマイクをオンにしてください。

同中競射で選手を変更・交代する場合、同中競射開始時刻の 5 分前 (13：25 予定) までに、Google スプレッドシート上の選手変更・交代の欄に、「競射：弓道三郎→弓道太郎」と記入してください。

準備ができ次第、1 本競射を行います。上記 1-9 の手順を繰り返して行います。記録委員は、Google スプレッドシート上の競射の個所にご入力ください。決着がつくまで繰り返します。**同中競射開始後は、選手の交代・変更はできません。**

(3 月 19 日加筆) 予選不通過となった場合

予選不通過となった場合、Zoom を退出し、解散いただいて構いません。引き続き、試合をご覧になりたい方は、YouTube 及び Twitter 上でご覧ください。

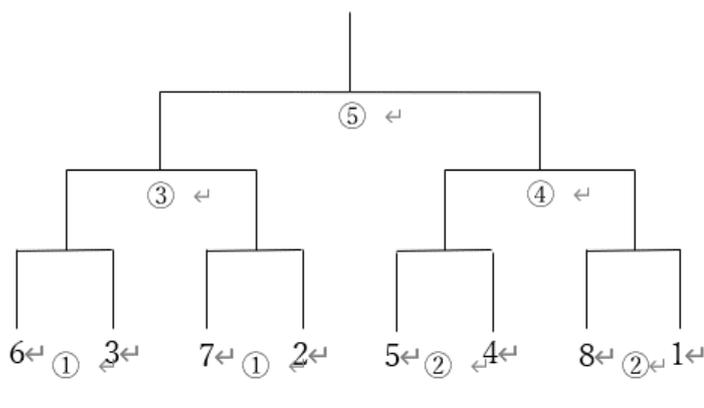
最後まで大会の様子を会場で見るとは、密とならないよう、ご注意ください。特に、大型スクリーンや TV 等を設置していない会場では、1 台の PC 周辺に多くの人が集まることのないようにしてください。

決勝トーナメント

決勝トーナメント進出のための同中競射が生じなかった場合、直ちにトーナメント表を作成し、Google スプレッドシート上に入力するとともに、Zoom の本部画面で表示します。また、LINE オープンチャット及び Twitter でも発表します。同時に、第 1 回戦開始時刻(トーナメント表発表から 15 分後を目安)についても連絡します。

- トーナメントの組み合わせは、予選順位によりその位置を決定する (図 3 参照)。同中の場合は、順位付けを行わず、予選立順番号の低い方を上とする。決勝トーナメントの組み合わせは、確定次第、Google スプレッドシート、Zoom の本部画面、LINE オープンチャット、Twitter 上で発表します。
- 進行は本部からの合図による。(進行委員は補助する)
- 坐射で 1 団体 12 射 (各自 4 射 1 回) のトーナメント法で行う。
- 制限時間は 7 分 30 秒以内とする。
- 同中の場合は、1 団体 3 射 (各自 1 射) にて総的中数の多いチームの勝ちとする。なお、同中の場合は、勝敗が決定するまで繰り返す。決勝トーナメントでは予備矢を必ず用意し、同中競射ではそれから使用すること。(同中競射がある場合に備え、行射後、本座後方に下がり待機し、同中競射の場合に進行委員は予備矢から選手に渡すこと。同中競射が生じなかった場合は退場すること。)
- **1 回戦は、2 試合同時に進行します。準決勝及び決勝戦は、1 試合ずつ行います。**

※決勝トーナメントでは、1 試合ごとに予選の出場選手とは無関係に立順登録することができる。**出場チームの記録委員は、1 試合ごとに Google スプレッドシート上に、競技開始までに選手氏名を記載すること。選手を変更・交代していなくても、改めて選手名を記載すること。**予選に出場していない選手、予選で変更・交代した選手が再出場することも可能とする。**但し、同中競射が生じた場合の、選手変更・交代は認めない(予選と異なるので注意)。**



(3月19日修正) 図 3. 決勝トーナメント組み合わせ

(数字は予選での順位を表す。丸で囲った数字は、第何試合目に行くかを表す。)

1. トーナメント表を公表後、15分後を目途に決勝トーナメント1回戦1立目(2試合)を開始します。開始時刻を、Zoomの本部画面及びLINEオープンチャットで連絡します。開始時刻の3分前となりましたら、出場するチームの選手は本座の1歩手前まで進み、お待ちください(椅子がある場合は座っても良い)。同時に、行射を行う会場は、映像配信用端末のマイク・ビデオをオンにしてください。
2. 全ての会場が揃ったら、大会本部から「ただいまより、決勝トーナメント1回戦を開始します。」とZoomを通してアナウンスします。選手は、1歩進んで、本座に跪座してお待ちください。
3. 大会本部から、Zoomを通して「始め」の合図で、選手は揃って揖を行い、射位に進み、行射を開始してください。
4. 行射中に、記録委員は随時Googleスプレッドシート上に的中を入力してください。
※的中したかどうか確認が必要な場合は、入力せずに空欄としておいてください。
5. 行射終了後、全てのチームの行射が終了するまでお待ちください。**本部から合図があるまで、お静かにお待ちください。行射終了後、選手は本座後方に戻り、進行委員は同中競射があることに備え、選手に予備矢を渡す準備を行ってください。**
6. 本部から、「的中の確認をお願いします」と合図します。本部のZoom画面上にも、同様の掲示を行います。行射したチームの会場は、一斉に的中の確認を行い、確認後矢取を行ってください。
7. 的中を確認した結果、記録に変更がある場合、Googleスプレッドシート上の記録を修正してください。
8. **的中の確認が終わり次第、LINEオープンチャット上で、「●●県●●中」とお知らせください。**
9. 全チームの的中確認が終わりましたら、「ただいまの競技の結果、●●県●●中、●●県●●中、よって●●の決勝トーナメント準決勝進出が決定しました」とアナウンスします。同中競射がない場合、進行委員は選手に退場を指示してください。
10. 映像配信・記録のマイク・ビデオをオフにしてください。

終了次第、決勝トーナメント1回戦の、残りの2試合を上記の手順を繰り返して行います。**次の立の選手は、前立の的中確認を行っている間に、本座に入れるように準備を行ってください。**前立の勝者が決定次第、上記2からの手順を繰り返します。同様に、準決勝も行います。決勝については、準決勝2試合目に勝利したチームの選手が十分な準備時間を取れるように、決勝開始までの間に時間を取ります。開始時刻については、準決勝終了後にZoom及びLINEオープンチャットで連絡します。

同中競射が生じた場合

マイク・ビデオをオフにせず、該当するチームは、同中競射を行うための準備をしてください。準備ができ次第、同中競射を行います。記録委員は、記録用紙の競射の個所にご入力ください。決着がつくまで選手は射場から退場せず、矢返しを行い、繰り返します。

〈その他〉

- **制限時間の計測は、本部において行います。予鈴・本鈴の対応については、後ほど別途ご連絡します。**

(3月19日加筆)

制限時間の計測は、本部において行います。各会場の選手が本座に跪座し、本部から各会場の映像配信用端末のスピーカーを通じて、一斉に「はじめ」のアナウンスを行います。同時に、時間の計測を開始します。予鈴及び本鈴に使用する音については、電子ホイッスルを流します。当日11時からのテストの際に流しますので、その際にご確認ください。

- 行射中が傾いた時など、各会場の審判が必要と判断した場合は、行射を止めて必要な対応を行うこと。その間、行射再開までは時計を止める。的が倒れた場合は、3番まで引いた後に的を直す（射場審判員あるいは進行委員は、1番が引くのを止める指示を出すこと）。上記が発生した場合は、直ちにLINEオープンチャットで本部に連絡すること。
- 無観客とすること。的中時の応援は禁止。射場内にいる控え選手等による、皆中の際の拍手は可能とする。
- 会場での的前での練習は、予選開始時刻30分前（11:30）まで認める。それ以降は認めない。
- 巻藁の使用は、常時認める。
- 映像内に関係者以外が映り込むこと、会場内での会話が他会場に聞こえることにご注意ください。
- **会場に大型スクリーンなどを設置し、他会場の行射及び的中の状況が見られるようにするかどうかは、各会場の判断に任せる。特に、決勝トーナメントにおいて、対戦相手の的中状況を選手が認識しながら行射するかどうかは、選手と相談するなどして決定すること。**

以上

全国オンライン弓道交流大会 実施要項

1. 目的 全競技をオンライン上で実施することで、新型コロナウイルス感染症に対応した新たな弓道競技会の開催方法に関する知見を、全日本弓道連盟及び加盟団体間で獲得・共有する。また、参加団体間における弓道競技力の向上及び相互の親睦を図る。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 主管 全国オンライン弓道交流大会実行委員会
4. 期日 令和3年3月21日（日）
※大会開催に関する会議は、全て大会前（締切後）にWeb会議及びメールによって行う。
5. 会場 大会本部 : 全日本弓道連盟事務所（JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE内）
競技実施場所 : 主催者と各参加団体間の取り決めによる全国各地の弓道場
6. 競技種目 近的競技
7. 競技種類 団体競技
8. 競技内容 的中制（坐射・直径36cm霰的）
9. 競技日程 3月21日（日）
 - 11:00～ 本部及び各会場間での通信確認
 - 12:00～ 団体予選（3人立・各自4射×2回・計24射）
（これ以降の時間は、参加チーム数を32チームと想定した場合です。実際の参加チーム数及び試合の進行状況によって、変更の可能性があります。）
 - 14:00 決勝トーナメント1回戦（全4試合、2試合同時に行う）
各自4射・計12射・合計的中数の多い方を勝ちとする。
同中の場合は1本競射を勝敗が決定するまで繰り返す。
 - 14:30 決勝トーナメント準決勝（全2試合、1試合ごとに行う）
 - 15:00 決勝トーナメント決勝（1試合）
 - 15:30 終了・解散
10. 競技方法
 - (1) チーム編成
 - ①競技は、3人立で行う。
 - ②男女及び段位・称号による種別は設けない。
 - (2) 予選
 - ①事前の抽選によって決めた立ち順で、8チームずつ行射する。
（参加団体数によって、同時に行射するチーム数は増減する可能性がある）
 - ②坐射で各自4射2回にて的中数の上位8チームを決勝トーナメント進出とする。
 - ③制限時間は1立7分30秒（時間超過後に発射した矢は無効とする。）
自団体内に起因する事故（弦切れ処理など）の場合は、制限時間内で行う。
 - ④決勝トーナメント進出の為の同中競射は、各自1射にて、総的中数の多いチームを上位とする。
なお、1回の同中競射で順位が決まらない場合は、順位が決定するまで繰り返す。
 - ⑤各会場の記録責任者は、行射終了後に本部へ合計的中数を報告する。本部は、各会場の記録をまとめ、各会場に報告する。
 - (3) 決勝トーナメント
 - ①トーナメントの組み合わせは、予選順位によりその位置を決定する。
 - ②進行は本部からの合図による。
 - ③坐射で各自4射1回のトーナメント法で行う。
 - ④制限時間は7分30秒以内とする。
 - ⑤同中の場合は、各自1射にて総的中数の多いチームの勝ちとする。
なお、1回の同中競射で勝敗が決らない場合は、勝敗が決定するまで繰り返す。
 - (4) 選手の変更及び交代は、予選1回目から可能とする。
11. 表彰 優勝から3位（3位2チーム）に本連盟より賞状を授与する。（賞状は大会後に郵送する）
12. 参加資格
 - (1) 選手及び監督は所属する都道府県弓道連盟会長の認証を受けた者であること。
 - (2) 各都道府県弓道連盟から団体競技1チームとする。
 - (3) 所属する地連が位置する都道府県において、新型コロナウイルス感染症によるスポーツ大会を含めたイベントの開催自粛要請が出されていないこと。
 - (4) 新型コロナウイルス感染症に対応したガイドラインに沿って参加できること。
 - (5) 「競技規則」に則った近的競技を3人立で行える会場を確保できていること。
 - (6) オンライン大会を実施できる環境が（5）の会場に備わっていること。

13. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに大会要項による。
14. 参加料 無料（但し、参加に伴う通信機器の整備、通信料、会場使用料は各地連で負担すること。Zoomのホストは大会本部で用意する。）
15. 参加申込 以下のリンクから申込みこと。
<https://forms.gle/7zMNz6LHMZpVxaQN8>
16. 締切日 令和3年3月1日（月）
なお、参加申し込みの際に、出場選手名を記載する必要はない。選手名及び立順表は、大会前日正午までにオンライン上で提出する。選手名及び立順表の提出については別途案内する。
17. 注意事項 (1) 競技の服装は、弓道衣（筒袖・袴・白足袋）とする。
(2) 坐射が困難な選手は立射での参加も認める。申請等は不要とする。
(3) 参加者各位においてスポーツ安全保険等に加入することが望ましい。
(4) その他、各地連において定められた事項があれば、その内容に従うこと。
18. 審判 各会場において、地連会長の定めた競技に直接参加しない者（公認審判員資格を有している者が望ましい）が審判の役割を担うこと。審判は、競技が安全且つ適正に行われるよう監督する義務と責任を負い、各会場における競技結果が正しいことを確認すること。
19. YouTube配信及び競技結果の発表について
競技の様子は、当日YouTube上の特設アカウントにおいて配信する予定である。また、競技結果の速報についても、Twitter等を用いて配信する予定である。これらの詳細については、別途各地連オンライン大会担当者を通じて連絡する。
20. その他 (1) 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに則り実施すること。安全が確保できない場合は直ちにその会場は閉鎖とし、試合は棄権扱いとする。
(2) 大会終了後に、参加各地連に対してオンライン開催に関するアンケート調査を行う。本大会が全日本弓道連盟のオンライン弓道競技会開催に向けたモデル大会であることを踏まえ、回答するよう協力をお願いする